

ラムサール条約 湿地自治体認証  
記念シンポジウム

# 新潟の湿地と潟

－その意味と価値－

新潟国際情報大学 国際学部  
新潟市里潟研究ネットワーク会議

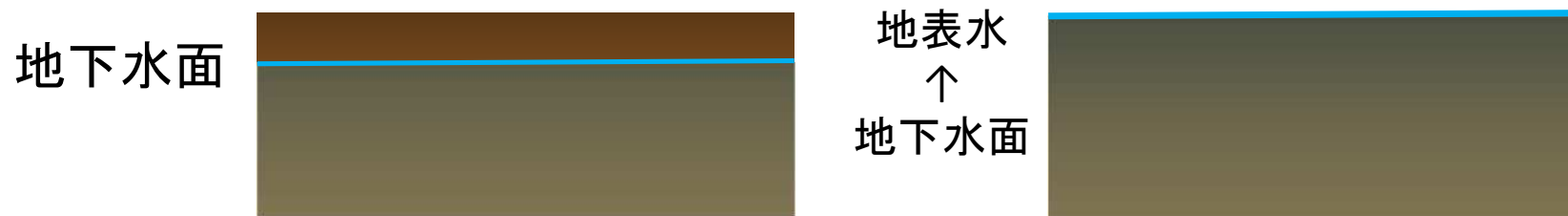
澤口 晋一

[sawashin@nuis.ac.jp](mailto:sawashin@nuis.ac.jp)

2021年2月19日撮影  
角田山より

# 湿地とは

湿地とは水気の多いジメジメとした土地のこと。  
地下水面が地表近くにあり、排水不良のため、常に湛水している。



地下水面は何によって決まるのか → 海水面の高さ

新潟市のような海に面した平野(海岸平野)では、  
海水面高と地下水面はほぼ同じ高さになる。

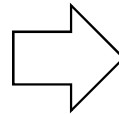
# 日本海の海水面の高さ

T.P. +0.56m (新潟西港)

T.P.(東京湾の平均海水面高)

日本海は太平洋岸より海水位が高い。0mではない！

これを基準に海面以下の土地の広がりを示すと...



中央区出来島

T.P. 0.56m

新潟市の42%は海面下  
**「地図にない湖」**  
と呼ばれた低湿地帯である(った)ことの意味

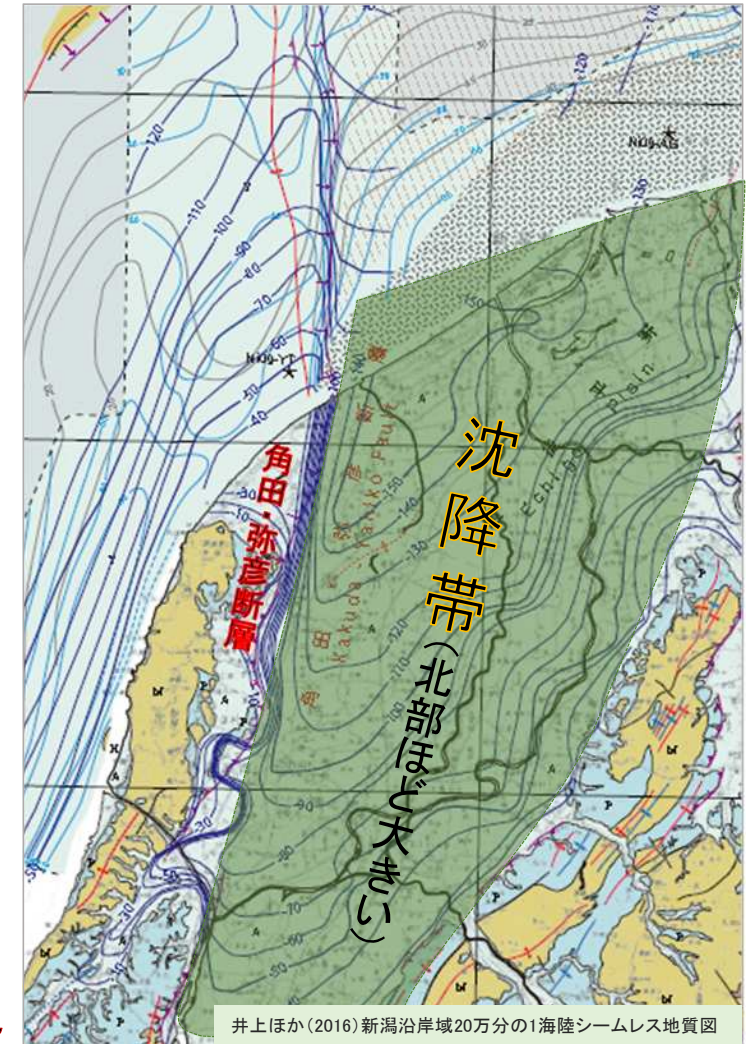
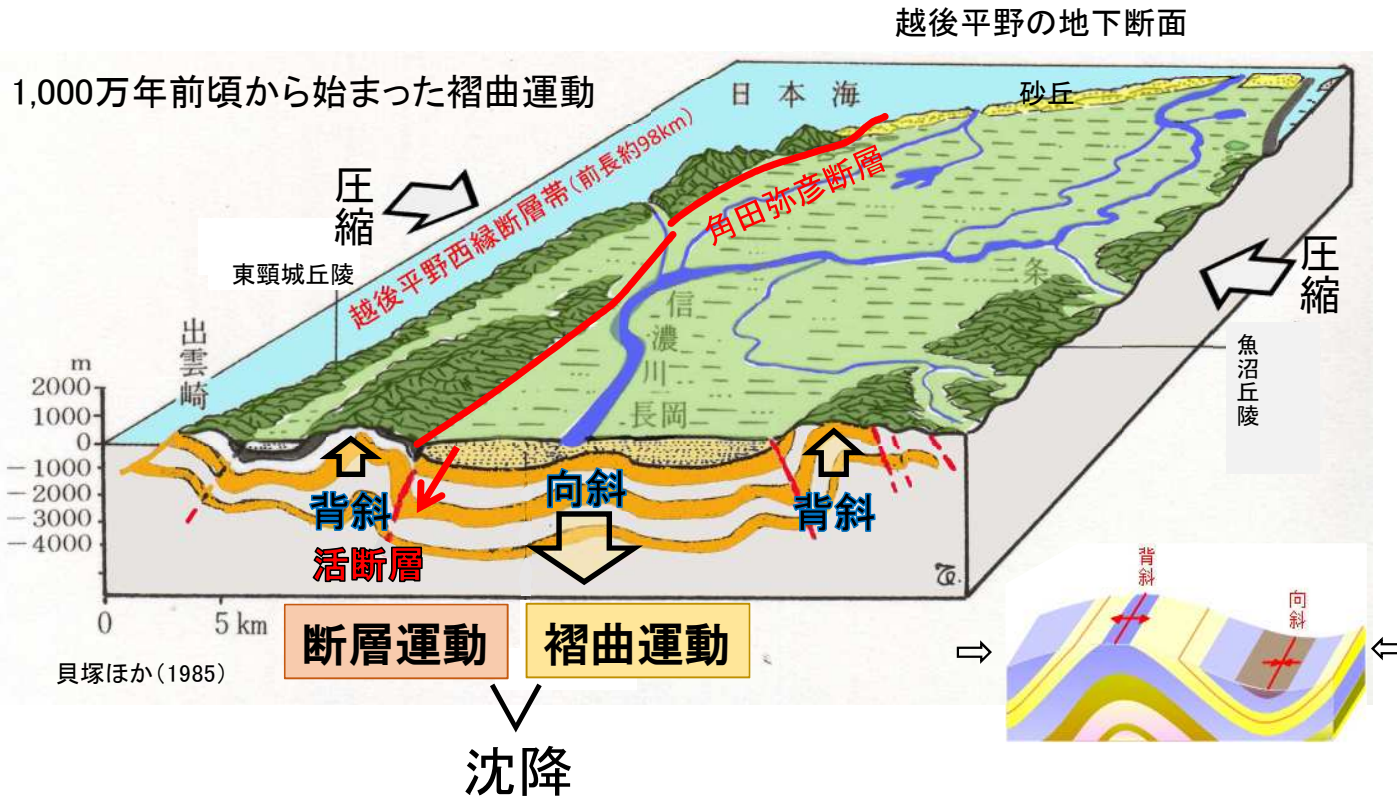


こて作成

ほとんど潟と変わらないぐらいの水深での稲刈り

# なぜ、こんなに土地が低いのか

褶曲と断層運動による沈降帯の形成



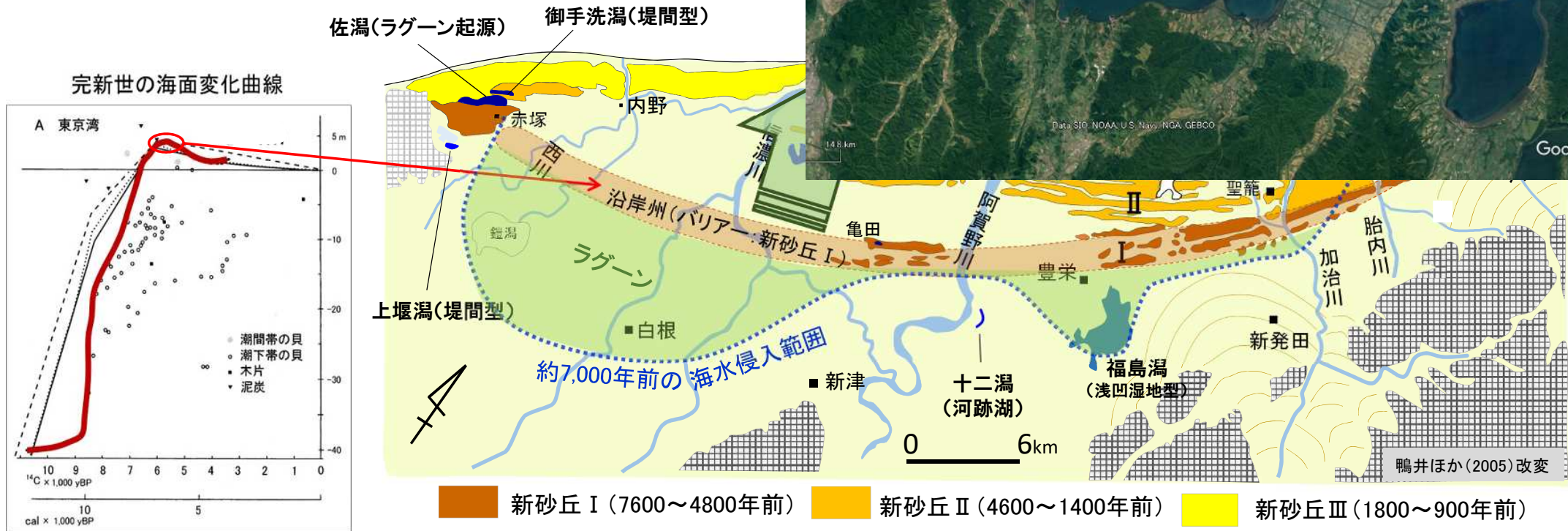
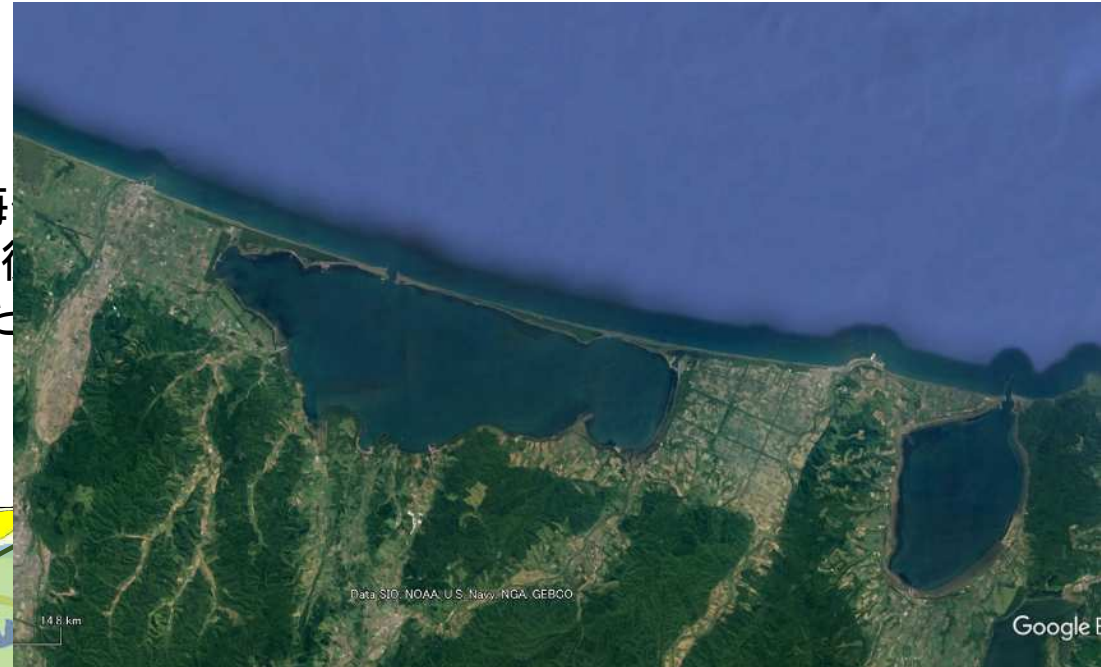
断層運動：約3m/千年  
褶曲運動：？

**世界最大級の沈降速度**

→このような地学的条件をもつ平野！

# 平野の形成と拡大

このような沈降帯において、約7,000年前以降、海  
ラグーンを形成を繰り返しながら平野が拡大、最終  
この過程で成因の異なる数多くの潟が形成された



バリアーおよび砂丘と潟の分布

# 「潟」の数と分布

郡誌合計	1914 (大3) 年	1947 (昭22) 年	1975 (昭50) 年
約200	76	60	23

加藤(2017)による

現在, 新潟市内に現存する潟 = 16

自然成因による潟 = 11 (12)



成因別に分類すると

### 自然成因による潟

	名称	面積 <sub>ha</sub>
1	福島潟	262
2	鳥屋野潟	158
3	佐潟	44
4	御手洗潟	6.5
5	十二潟	5.4
6	松浜の池	2.2
7	清五郎潟	2.0
8	北山池	1.6
9	六郷ノ池	1.6
10	内沼潟	1.2
11	じゅんさい池	0.8
12	上堰潟(復元)	11.0

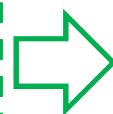
○ 自然成因による潟

## 多様な成因の潟

ひとつひとつの潟が異なる個性をもつ  
希少性が高く、それぞれが大きな価値を有する

浅凹湿地型 (福島潟, 内沼潟, 清五郎潟)

→ 低湿地中の浅凹地が湛水したもの



かつて存在した潟の  
多くはこのタイプ

堤間湿地型 (鳥屋野潟, 上堰潟, 御手洗潟, 北山池?)

→ 浜堤列中の堤間地が湛水したもの.

ラグーン起源 (佐潟)

→ 浅海の一部が沿岸州の発達によって外海から切り  
離されたことを起源とする凹地が湛水したもの.

砂丘湖 (じゅんさい池)

→ パラボリック砂丘末端凹地が湛水したもの.

河跡湖 (十二潟, 六郷ノ池)

→ 河川の蛇行切断によって取り残された旧河道が湖沼化したもの.

河口閉塞湖 (松浜の池)

→ 河口部の砂礫によって閉塞され, 外海と遮断され形成された.

全部で6種類

地球という惑星に特有の地殻変動と気候変動.  
この営みのなかで越後平野は形成されてきた

新潟市 → 「湿地」の上にかたちづくられた「都市」

個性にみちた潟（潟は新潟のアイデンティティ）

**Wetland City**

新潟市はこれに「砂丘」という湿地と相反する  
地形がアクセントと多様性を与える.



「湿地(潟)」+「砂丘」  
新潟という都市の最大の価値